

トピックス

鉄道総研 熊谷則道理事長がフランス国鉄総裁と共同研究に関するトップミーティングを行いました

鉄道総研 熊谷則道理事長が2018年10月18日(木)にフランス国鉄(SNCF)本社にて、Guillaume PEPEY(ギヨーム・ペビ)フランス国鉄総裁および技術系役員と共同研究に関するトップミーティングを行いました。

鉄道総研は1995年にフランス国鉄と共同研究などに関する協定を結び、23年間にわたり各技術分野で共同研究を進めています。本ミーティングはペビ総裁、熊谷理事長の挨拶にはじまり、鉄道総研およびフランス国鉄が共同研究の優先課題と位置付ける自律運転、自然災害対応、省エネルギーおよびヒューマンファクターに関する研究開発の内容と進め方に関し意見交換が行われました。フランス国鉄ではTECH4RAILとよぶデジタル化プロジェクトを進めており、鉄道総研のICT推進プロジェクトとも課題を共有することが必要であること、さらに相互に社員を派遣して人的ネットワークを深めることを双方が確認しました。また、来年日本で開催される世界鉄道研究会議(WCRR2019)にも話題が及びました。



ペビ総裁(左)と握手する熊谷理事長(右)

トピックス

第8回日仏鉄道共同研究セミナーを開催しました

「第8回日仏鉄道共同研究セミナー」が10月17日から19日の3日間、パリ市郊外のサン・ドニにあるフランス国鉄(SNCF)本社およびパリ市ベルシー地区のSNCF研究革新局で開催されました。

本セミナーは、共同研究の各テーマに関する成果の報告と今後2年間の計画策定および共同研究に関わるマネジメント会議の実施を目的としており、SNCFより、Pierre Izard(ピエール・イザール)副総裁、Carole Desnost(キャロル・デノー)研究革新局長以下各分野の技術者が、鉄道総研からは熊谷則道理事長、久保俊一理事を含め、計20名が参加しました。



セミナー参加者



共同研究報告会

## トピックス 「第31回鉄道総研講演会」を開催しました

鉄道総研は、「第31回鉄道総研講演会」を下記により開催いたしました。輸送の安全・安心は鉄道事業において最重要課題であり、鉄道総研は事故や災害の最小化に向けて技術開発に取り組んできました。近年、モニタリング、センシング、大容量通信などを要素技術とするICTが飛躍的に発展し、これらを活用した新たなシステムが従来の課題を克服するとともに、新しい価値を生み出す可能性があります。

そこで、鉄道総研講演会では「鉄道の安全・安心を創るーICTによる新たなシステムー」をテーマに開催し、鉄道事業者をはじめ官庁、大学、一般企業などから約670名の方々にご聴講いただきました。

講演会では、産業技術総合研究所人工知能研究戦略部総

括企画主幹 村川正宏様から、「AIでインフラの異常を見つける」と題した特別講演を頂きました。その後、列車運行の安全性向上、列車運行の自動化など、ICTの導入とその効果について、研究開発の考え方などを基調講演にて、また具体的な研究開発の取り組みを講演にてご紹介しました。

また、今回、講演会の中で初めてディスカッションパートを企画しました。テーマ「ICTを活用して鉄道の安全・安心をどう高めるか」について、ご聴講の方々からのご質問やご意見をお聞きするとともに、講演者間で活発な議論を行い、AIに加えて、現象解明やシミュレーションの重要性を認識し、ICTを活用しつつ鉄道の安全・安心を高めていく研究を今後も進めるとまとめました。

### 記

- 1.開催日時：2018年11月7日(水) 13時00分から17時20分
- 2.開催場所：有楽町朝日ホール(東京都千代田区有楽町)
- 3.プログラムと講演内容

#### ■開会の挨拶

会長 正田英介

#### ■特別講演「AIでインフラの異常を見つける」

産業技術総合研究所人工知能研究戦略部 総括企画主幹 村川正宏 様

#### ■基調講演「ICTで創る安全・安心のための新たなシステム」

理事 久保俊一

#### ■「列車運行制御の自律化がもたらす安全性の向上」

信号・情報技術研究部長 川崎邦弘

#### ■「ヒューマンエラーを防ぐ人間科学研究への計測技術の活用」

人間科学研究部長 小美濃幸司

#### ■「リアルタイムハザードマップを活用した防災システム」

防災技術研究部長 太田直之

#### ■「持続可能な安全を実現するメンテナンスの高度化」

軌道技術研究部長 村本勝己

#### ■ディスカッション「ICTを活用して鉄道の安全・安心をどう高めるか」

ファシリテータ：専務理事 渡辺郁夫

パネリスト：特別講演者 基調講演者 講演者

#### ■閉会の挨拶

理事長 熊谷則道

